

審議会等の会議結果報告書

【担当課】 商工課

会議の名称	茅野市中小企業振興審議会		
開催日時	令和元年12月23日(月)13時00分～17時00分		
開催場所	茅野市役所 7階 705会議室		
出席者	<p>【委員】寺澤委員、矢島正恒委員、小笠原委員、矢島芳美委員、小池委員、清水委員、桃崎委員、小林委員</p> <p>【事務局】柿澤副市長、上田商工課長、大蔵工業・産業振興係長、河西産業振興担当、北原工業・産業振興係主査</p> <p style="text-align: right;">合計13名(委員8名、事務局5名)</p>		
欠席者	3名		
公開・非公開の別	公開・ <u>非公開</u>	傍聴者の数	0人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容(概要)		
商工課長	<p>次第1 開会 開会のあいさつ</p> <p>審議会の成立について申し上げます。茅野市中小企業振興条例第11条第5項の規定で、審議会の開会は委員の過半数の出席が必要とされています。委員数11名のうち、本日8名のご出席をいただいています。過半数を超えていますので、本日の審議会が成立したことをお伝えさせていただきます。</p> <p>それでは次第に沿って進めさせていただきます。</p>		
商工課長	<p>次第2 委嘱書交付 任期の途中で役職交代された4名の方に委嘱書の交付を行います。本日、柿澤副市長からの委嘱状の交付をいたしますので、自席にてお受けください。</p> <p>(柿澤副市長から、委員4名に委嘱書を交付)</p>		
商工課長	<p>次第3 市長あいさつ 次に柿澤副市長からごあいさつ申し上げます。</p>		
副市長	<p>本日は、年末のお忙しいところ本審議会にご出席いただきありがとうございます。また、思わぬ雪で足元の悪いところご出席いただき、改めて感謝申し上げます。ちょうど市民活動センターで、市長と働くお母さん方との意見交換のところでしたが、企業は働き方改革も含めて大きな課題があると思いました。この審議会は中小企業振興条例に基づいて設置された会議であり、工場の立地促進や商工業者、観光業者の産業育成のため、補助金の審査とともに、市の中小企業振興策にご意見いただくものです。本</p>		

<p>商工課長</p>	<p>日は、新規の案件が3件、継続案件が3件の補助金計6件でして、慎重なご審議をお願いいたします。このあと現地審査をして皆さまで確認をし、評価いただければと思いますので、よろしく申し上げます。今井市長になりましてから、これからの人口減少、少子高齢化に対応するため、AI・IoTを使って暮らしやすい社会をつくる仕組み作りを政策として掲げています。今後の中小企業振興のための制度見直しとして、AI・IoTを含めてどういった茅野市の政策にしていくか、そういった忌憚のないご意見を頂戴できればと思います。よろしく申し上げます。</p> <p>なお、副市長は次の公務のため、ここで退席をさせていただきます。</p> <p>(副市長、公務のため退席)</p>
<p>商工課長</p>	<p>次第4 自己紹介</p> <p>先ほど新任の委員さんには委嘱書を交付させていただきました。ここで、誠に恐縮ですが自己紹介にてお願い申し上げます。名簿順に寺澤委員さんからお願いいたします。</p> <p>(委員の自己紹介)</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>なお、本日3名の委員さんが欠席されておりますので、お名前のみご紹介させていただきます。茅野商工会議所商業委員会委員長 矢崎貞和様、茅野市労務対策協議会会長 藤岡徳広様、茅野市商業連合会会長 伊藤達成様、以上3名の方ご欠席ですのでよろしく申し上げます。</p> <p>(事務局の紹介)</p>
<p>商工課長</p>	<p>次第5 会長、副会長選任について</p> <p>選出につきましては、条例に規定がございまして、委員様の互選により選出することとなっております。ここで互選をお願いいたします。</p> <p>ご意見がなければ、事務局として副案がございまして、発表させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p>では、よろしく申し上げます。</p>
<p>事務局</p>	<p>本審議会の正副会長の決定につきましては、慣例では会長には工業分野に広く精通している茅野商工会議所副会頭に、副会長には市政を広くチェックしていただく市議会議員の方をお願いしているところでございます。事務局案としましては、本日ご出席いただいております商工会議所副会頭の寺澤委員さんを会長に、市議会議員の矢島委員さんを副会長にお願いいたしたいと考えております。よろしく申し上げます。</p>

商工課長	<p>ただいま、事務局案をご提示させていただきました。よろしいでしょうか。</p> <p>(拍手)</p>
商工課長	<p>それでは、寺澤会長、矢島（正恒）副会長から一言ごあいさつを頂戴したいと思います。</p>
会長	<p>まだ1年ほどしかこの会におらず右も左もわからない状況ですが、皆さんのお力添えとご協力をいただき、運営をしていきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。</p>
副会長	<p>寺澤会長を補佐して、会をスムーズに進行するよう努めたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。</p>
商工課長	<p>それでは正副会長さんは前の席へご移動をお願いします。</p> <p>ありがとうございました。それでは次第6の会議事項につきましては、寺澤会長さんに進行をお願いしたいと思ひます。</p>
	<p>次第6 会議事項</p>
	<p>次第6－(1) 審議会の公開について (資料1)</p>
会長	<p>まず、(1)の審議会の公開・非公開の決定について審議をいただきます。</p>
事務局	<p>(資料1に基づき説明)</p>
会長	<p>事務局より説明がありましたとおり、審議会を公開にするか非公開にするか、皆さんのご意見をお願いします。</p>
委員	<p>各企業の機械や設備等、秘匿情報がございますから、非公開ということでやっていただければと思ひます。</p>
会長	<p>その他にご意見等はございますか。</p> <p>(異議等なし)</p> <p>無いようですので本審議会は非公開とさせていただきます。</p>
	<p>次第6－(2) 中小企業振興補助金の交付について</p> <p>次第6－(3) 報告事項</p> <p>(以上の内容については、非公開とさせていただきます。)</p>

事務局	<p>次第6－(4) 中小企業振興について（意見交換）</p> <p>資料5に基づいて説明させていただきます。「令和元年度制度の見直し（工業関係補助金）の方向性について」ということで、あくまでも事務局での方向性ということでお示しさせていただきます。1「制度の見直しとその方向性」ですが、冒頭の副市長の話にもありましたように、市長が代わりAI・IoTを導入したまちづくりを目指すということを受けて、具体的に考えていくことを示しています。</p> <p>また、「第2次工業振興ビジョン」を進めています。経済情勢や企業ニーズに応じて、意欲ある多くの企業が支援を受けられる制度を目指しています。</p> <p>これらを踏まえ、①茅野市の強みである製造業を核としてデジタル関連産業の集積や既存産業とAI・IoT等の融合による付加価値向上を促進するための取組、②小規模な事業者の目線から使いやすい補助金となるよう条件や申請スキームの緩和又は拡充といったことを考えています。例えば、2「具体的な制度改正案のポイント」の(3)インターンシップ等促進事業は、工業に限らず全ての産業、更に中小企業だけでなく大規模企業も対象としています。また、(4)の中小企業人材育成や販路開拓の補助金も製造業に限らず商業の方も対象としていますが、そこにお示ししているような見直しを考えています。</p> <p>また、参考資料1に茅野市で商工業あるいは観光も含めて、取り組んでいる補助金等の支援制度の概要を示しています。大きくは、(1)整備投資促進、(2)労働力確保、(3)経営力・技術力の強化・安定化といった3つの柱で組んでいます。参考資料2ですが、先ほど「小規模事業者がより使いやすく」と申し上げましたが、現状徐々にですが、従業員20人以下の小規模事業者の利用も進んでいます。そういった方にもより使いやすい制度を考えていければと思います。特に、資料5の2－(2)新技術・新製品研究開発事業補助金ですが、この事業は5月末に公募をかけて翌年2月に専門家による審査をするといったスキームですが、小規模事業者には使いにくいということで、新たに追加する事業案としまして、例えば①試作・改良を促進するよう、対象経費を限定して随時申請できる補助金に見直したいと考えています。</p> <p>これに限らず、広く中小企業施策に対してご意見いただければと思います。よろしくお願いします。</p>
会長	<p>今回は工業関係だけですか。</p>
事務局	<p>工業に限りません。今回は例示として工業関係の改正案だけをお示しましたが、参考資料1にあるような取組を行っていますので、工業に限らずご意見をいただければと思います。</p>
会長	<p>先ほどの固定資産税の1.4%と都市計画税の0.2%の話は、1.6%だともらえる方は嬉しいけど、何か意味があるのでしょうか。</p>
副会長	<p>事業者の方にしてみれば、固定資産税1.4%と都市計画税0.2%を合わせ</p>

事務局	<p>た1.6%を税金で納めるので、その色分けの意識はないと思いますが、税制上、都市計画税は都市計画の目的のために色分けしているので、そこは要望があれば検討できるかもしれないが、税の免除ができないのでその分3年間なのかと思います。</p>
商工課長	<p>ありがとうございます。補助率は高い方がもちろん良く、事業者の皆様には設備投資を促進していただくことは市の税収にも繋がりますので、市の立場からも意欲的に設備投資をしていただきたいと言えるかと思います。ただ、補助率として税相当全額をお渡しするかに関しては、予算の都合もありますので、どういったものが良いかは検討の余地はあるかと思います。</p>
会長	<p>条例制定にあたっての当初の目的があるかもしれません。都市計画税につきましても、都市計画が決定されている市内全域の目的税になっていますので、それを補助対象とするのはそぐわないという議論があったかもしれません。そのあたりも研究する必要があるかと思います。</p>
委員	<p>広く工業に限らず要望を挙げても良いですので、忌憚のないご意見をお願いします。</p>
委員	<p>大学の立場から、資料5の(5)製造業労働力緊急確保支援事業補助金についてですが、諏訪東京理科大学も公立化によって、情報に以前より力を入れていくとのことですが、誤解をされないようにしていただきたいのが、Googleやマイクロソフトのようなものを目指すという訳ではなく、元々ある製造業、商業、観光業、農業といったものと情報を結びつけることで、付加価値を上げていくことが基本的な狙いですので、そういう意味では理科大の学生も地元企業に就職できるように、インセンティブが付く市の取組や政策は、我々としては大歓迎です。逆に企業さんも、そこに重点を置いていただければと思います。</p>
商工課長	<p>市で総合戦略を策定している中でも、学長もご出席いただいております、同じことを仰っていました。理科大のAI・IoTを目指すところは、巨大企業であるGAF Aではなく、地域企業の生産性向上に結び付ける支援であると。大変ありがたいことであり、産業界の方でもそのように捉えて進めていければと思います。ご協力をお願いいたします。</p>
委員	<p>理科大生が地元就職するために、学生達への補助金や環境を整えて、少子高齢化のなか人口減少の歯止めのためにも、卒業したら茅野市に勤めてもらう環境作りは大事かと思います。大学とタイアップしながらそれぞれの業界、行政を含めてやっていくことが大事だと思います。</p>
委員	<p>大学に関連しまして、以前は7割ぐらいが県内の学生でしたが、公立大学になってから県外の学生が7割になりました。大学の学生が是非地元にと我々も思いますが、そこは大きく考えると、全国的にも人をどれだけ引っ張れるかということになると思います。全国から来ている学生がこの地</p>

域に魅力を感じてくれるかによろと思います。それが過去3年のインターンシップ促進事業にもなってくるかと思ひます。労働力確保、働き方改革に關してですが、企業さんに「週休三日にしませんか」と話しました。3日あれば東京にも遊びに行けます。今は都心に住むよりも、遊ぶ時間やお金をどれだけ確保できるかを考えたときに、いち早く週休三日にすると若い人材はここに集まってくる。企業のメリットとしては、週休三日をシフトにして休みを取らせることで、装置は24時間稼働することも可能ですし、1日の労働時間が長くなるので、残業分の人材は確保できます。年代によって土日休みたい人もいれば平日休みたい人もいるので、そういった学生から見た魅力ある、今までのアイデアとは少し離れたところも含めて企業さんの方でも取り組んでいただき、それが若い人に伝わればより人材確保がしやすいかと。今見えている税制のパーセンテージだけでなく、そこも見ただけだと良いかと思ひます。今の働き方改革も、そういった既成概念を作っているのは政府や国である思ひます。土日や決まった日に休んでも、道やお店も混雑して時間も無駄に浪費しており、小売業でも土日しか売れないお店ではだんだん寂れてしまい、結果的にはマイナスの方向に向かってしまう。そういった働き方の概念を覆すのは、公的機関の役目かと思ひます。

委員

働き方改革に対してはとても厳しいが、そうはしないと人が取れないので、そこはうまく折り合いをつけないといけないが、難しい。

委員

外部からインターンシップのサポートをしてくれる人に対して助成金を出してくれるとか、企業さんの負担が少なく金額的にも人材的にも負担が軽減できると使いやすくなるかと思ひます。

委員

私も会議に出させていただいて、観光や交通の提言をいただいているが、魅力ある茅野市ということで、蓼科・白樺がどのように発展し、来てくれたお客がリピーターとして戻ってくれるような設備をやらなくてははいけないと思ひます。また電車や高速バスで来ても、そこからの足がないと言われており、第1次交通は良いが第2次・第3次交通網に対する設備、対応を考えなくてははいけないと思ひます。チェルトの森やグリーンヒルズでは、東京から来てくれている人が増えている状況の中で、一番ネックになっているのは足だと聞いています。かなり費用的にはかかってしまうが、一つ交通網の確立を考えていただければと思ひます。

委員

私的なことですが、うちの次男が転職して東京から帰ってきましたが、周りにも東京から帰ってきている仲間もいます。東京は土地や家も高いし、子供を育てるなら茅野で育てたいと帰ってきています。これからは、自分のスキルを磨いて、ダブルワークを考えている人もいると思ひます。会社勤めもするが、休日は自分の知識や技術を使って別の仕事をしたいと考えている人も多いと思ひます。働き方改革で休日が増えたので、それを何かに使いたいと考える人も多くなると思ひますので、それに使える補助制度を考えていただけると、東京で仕事している人も何か考えて、起業まではいかになく

	<p>でも何かやりたい人が増えたときに、茅野市がそれを応援するという形を見せると、若い人達も魅力を感じることができると思います。</p>
委員	<p>一番補助金の多い事業（新技術・新製品研究開発事業）がなかなか今はないということで、審査をやっていましたが、その新技術が先に繋がらないという部分があるので、そこをどう審査するかが難しい。そういった先に進まない部分にも補助を追加して、後のフォローもして将来的には役に立つものにしていかないと、補助金もったいない気がします。将来性があるかという、1年間のものでその先進んでいるところは少ないと審査していて思う。結構な額の補助金ですし。</p>
会長	<p>茅野市は新しい企業数が多いと聞きました。諏訪圏の他市では企業数がマイナスなのに、茅野市だけ突出して企業数が増えている。やっていることがもしかしたら活着しているのかもしれない。その強みを調べて伸ばしていけばと思います。たまたま多かっただけで来年になれば他市と同じになるかと思ったが、今日の審議会でも審査対象企業が移転しているのを見ると、やはり事業数は増えているのかなど。</p>
商工課長	<p>平成28年の経済センサスでは、確報（確定値）が発表されましたが、長野県内では平成24年と比較して事業所数が増えていたのは、市町村別で19市中で茅野市だけでした。何が良かったのかを分析しなくてははいけないと思います。茅野市としてのSWOT分析にかけてみるとか必要になるかもしれません。茅野市の補助金活用も実際に使っていた企業さんのフォローとともに、更にステップアップさせるためには、会議所さんと連携をとりながら違った補助金を取りにいくとか、今後進めていかななくてははいけないと思います。皆さんのご意見を参考に我々も考えていきたいと思っています。</p>
委員	<p>本日の審査対象企業さんも仰っていたように、地盤や工場用地、災害を考えたときに茅野市を選んだと。そういう自然災害等の危機管理の部分で選択した場合、茅野市が良いのかなとも思います。そうした中で、AI・IoT関係の技術を持った大手企業が来ると、また引き抜かれて困るということもありますが、地域が活性化するためには最先端の技術を持った企業が来てくれると、学生達もそういうところに就職するので大事かと思っています。なぜ茅野市が良いかということは、しっかり分析して情報をつかむことは大事だと思います。</p>
委員	<p>長野県は創業支援に力を入れていて、創業支援センターがいくつかありますが、その支援センターを出る際に「工場がない」とここ数年間言われています。諏訪・岡谷には工場がなくて、市の方が探してもない。やはり規模もあり茅野を選んでいるのかもしれませんが。増えた企業さんの規模や職種等、どういったものを求めているか分析してほしい。同時に減っている企業さんもいると思いますので、そこも分析しないと結果的にマイナスになってしまいますので、同時に調べていただきたいと思っています。</p>

副会長	<p>私も初めて参加させていただきましたが、皆さまご尽力、ご経験の中で、よく分析していただき、このようなご意見・ご要望が多かったと思います。また予算編成もあり、これから佳境に入りますので是非よろしく願いいたします。</p>
会長	<p>その他に何かご意見ございますか。</p> <p>(特に意見なし)</p> <p>ではこれで審議事項を全て終わらせていただきます。ありがとうございました。</p>
商工課長	<p>次第7 その他</p> <p>慎重審議いただき、ありがとうございました。その他としては、事務局では特にご用意しているものはございません。本日の審議の結果を受けまして、交付決定をした後、速やかに補助金の支払手続きに入りたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
商工課長	<p>次第8 閉会</p> <p>それでは以上をもちまして、令和元年度 茅野市中小企業振興審議会を閉会とさせていただきます。本日はありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>